

(メッセ海外通信 VOL.45 2018年4→6月号掲載記事)

～オシリア観光団地造成事業について～

下関市総合政策部国際課

(釜山広域市派遣職員)

白野 哲

アンニョンハセヨ！4月から派遣職員として釜山広域市へ赴任しました白野と申します。これから2年間よろしくお願いたします。さて、今回の赴任で3年ぶりの釜山訪問となりましたが、釜山の街並みは訪れるたびに進化しており、その成長速度には毎度驚かされるばかりです。そのような成長を続ける釜山市ですが、旧市街地の開発は飽和状態になりつつあり、いま開発の熱い視線は機張郡(キジャングン)に向けられています。

一昔前は機張郡といえばカニなど海産物のイメージが強かったのですが、今は釜山プレミアムアウトレットやロッテプレミアムアウトレットなどの大型ショッピングモールが進出し、観光地としてのイメージも定着しつつあります。

今回は開発の進む機張郡の中でも釜山市の主要プロジェクトに位置付けられているオシリア観光団地造成事業についてご紹介したいと思います。

釜山都市公社が手掛ける本事業は総事業費約4兆ウォン(日本円で約4,000億円、1ウォン=0.1円、2018年5月時点の為替レート)の大型プロジェクトで、約360万㎡(東京ドーム約78個分)の敷地に、「健康で幸福な暮らしを追求する人々のために、自分のスター性を発見し体験する空間を提供する」をコンセプトに、2019年の完成を目指して建設が進められています。

団地内は都市型レジャー、テーマパーク、ビーチ、レジャー・スポ

ーツといった4つのテーマに基づき構成されています。

まず、都市型レジャーゾーンには、複合ショッピングモールやアクアワールド、タワーマンションなどの建設が予定されており、すでにアジア最大級のプレミアムアウトレットや大型ショッピングモール、映画館を併設する複合ショッピングモール「ロッテモール東釜山店」が営業を開始しています。また、2018年下半期にはイケア東釜山店が着工予定、さらに2019年にはアジア最大級の水族館が完成予定です。

次に、テーマパークゾーンには、世界最大級のテーマパーク（東京ディズニーランドと同程度の広さ）と科学館の建設が予定されており、2015年12月に韓国東南圏の主力産業である自動車、航空宇宙、船舶、エネルギーおよび放射線医学を主なテーマとする地域拠点型科学館である国立釜山科学館がオープンしています。

ビーチゾーンには、別荘型コンドミニアムや医療・美容サービスの受けられる施設、文化体験施設などが建設される予定で、2017年7月よりヒルトン釜山が営業をしています。

レジャー・スポーツゾーンには、海雲台ビーチゴルフ&リゾートやゴルフスクールと練習場を備えたレジャースポーツセンター、研修コンベンション施設などが建設される予定で、ゴルフ場は2014年11月から営業をしています。

現時点では、団地内の一部施設のみ営業となっておりますが、多くの施設が完成する2019年下半期には、観光団地への来客者数1,000万人を目指しており、アジアの一大観光地としての成長が期待されています。2019年の完成が待ち遠しいばかりです。



「完成予想図」



「ロッテプレミアムアウトレット」